

3 雪の記録

県内各地で過去の記録を上回る雪となった、特に中・西部の平地で記録的な大雪となった。降水量としても多く、米子では二日ともにこの時期としての記録を塗り替えている。

大山

積雪差日合計	120センチ (2010/12/31)	統計開始(1981年)以来1位
最深積雪	184センチ (2010/12/31)	統計開始(1981年)以来12月として2位

参考資料

これまでの1位 72センチ (1985/01/24)
1位 211センチ (2005/12/28)

境

日降雪の深さ	70センチ (2010/12/31)	統計開始(1953年)以来1位
最深積雪	72センチ (2011/01/01)	統計開始(1883年)以来4位

これまでの1位 58センチ (1971/02/04)
1位 94センチ (1963/02/02)

米子

日降雪の深さ	79センチ (2010/12/31)	統計開始(1953年)以来1位
最深積雪	89センチ (2011/01/01)	統計開始(1940年)以来1位
日降水量	68.0ミリ (2010/12/31)	統計開始(1939年)以来12月として1位
〃	59.0ミリ (2011/01/01)	統計開始(1940年)以来1月として1位

これまでの1位 58センチ (1971/02/04)
これまでの1位 80センチ (1963/02/04)
これまでの1位 65.1ミリ (1959/12/17)
これまでの1位 52.0ミリ (1953/01/12)

倉吉

積雪差日合計	48センチ (2010/12/31)	統計開始(1981年)以来2位
最深積雪	58センチ (2011/01/01)	統計開始(1981年)以来3位
日降水量	39.0ミリ (2010/12/31)	統計開始(1976年)以来12月として5位

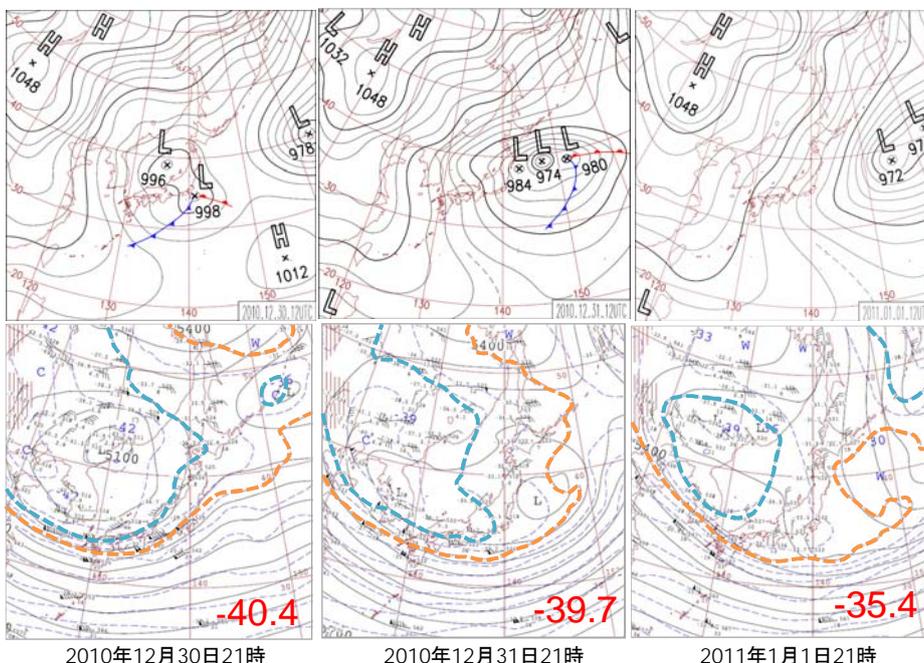
1位 51センチ (1988/02/03)
1位 70センチ (1990/01/26)
12月の1位 60ミリ (2004/12/04)

鳥取

日降雪の深さ	52センチ (2010/12/31)	統計開始(1953年)以来9位
最深積雪	50センチ (2010/12/31)	統計開始(1943年)以来12月として4位

1位 75センチ (1999/01/09)
12月の1位 95センチ (1983/12/26)

4 地上天気図、高層天気図



日本海の低気圧が東へ進み、31日には西高東低の冬型の気圧配置に移り変わっている。

山陰の上空5500メートル付近には、氷点下40℃前後の非常に強い寒気が流れ込んでいた。

山陰上空5500メートル付近で氷点下40℃以下を観測したのは、2005年(平成17年)12月以来、5年ぶり。

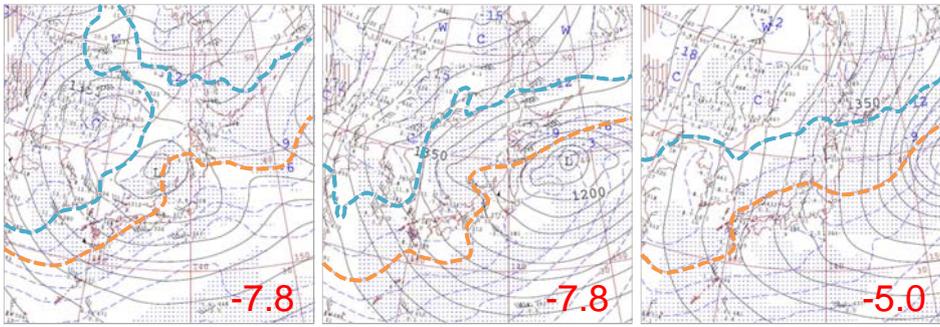
(左上段)地上天気図

(左下段)上空5500メートル付近の天気図

青色の破線は氷点下36℃の等温線

橙色の破線は氷点下30℃の等温線

右下の赤い数字は、松江の上空およそ5500メートルの気温

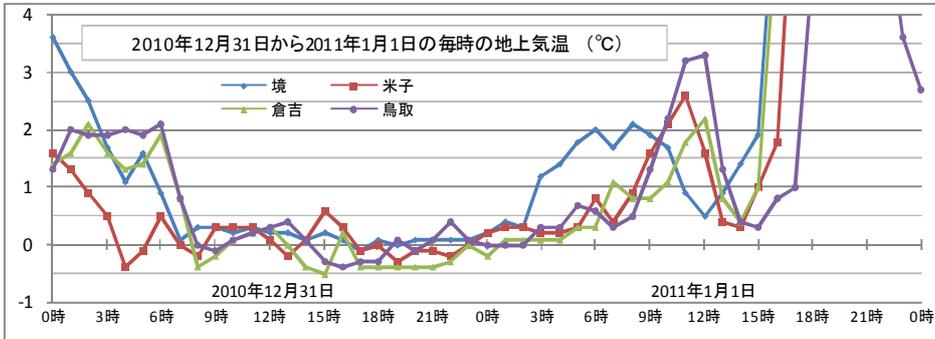


上空5500メートル付近の寒気の強さに比べ、上空1500メートル付近の寒気は、ひと冬に何度か観測されるレベルの寒気であった。

上下の気温差が大きく、大気の状態が非常に不安定であったことがわかる。

(左)上空1500メートル付近の天気図
 青色の破線は氷点下12℃の等温線
 橙色の破線は氷点下6℃の等温線
 右下の赤い数字は、松江の上空およそ1500メートルの気温

5 地上気温



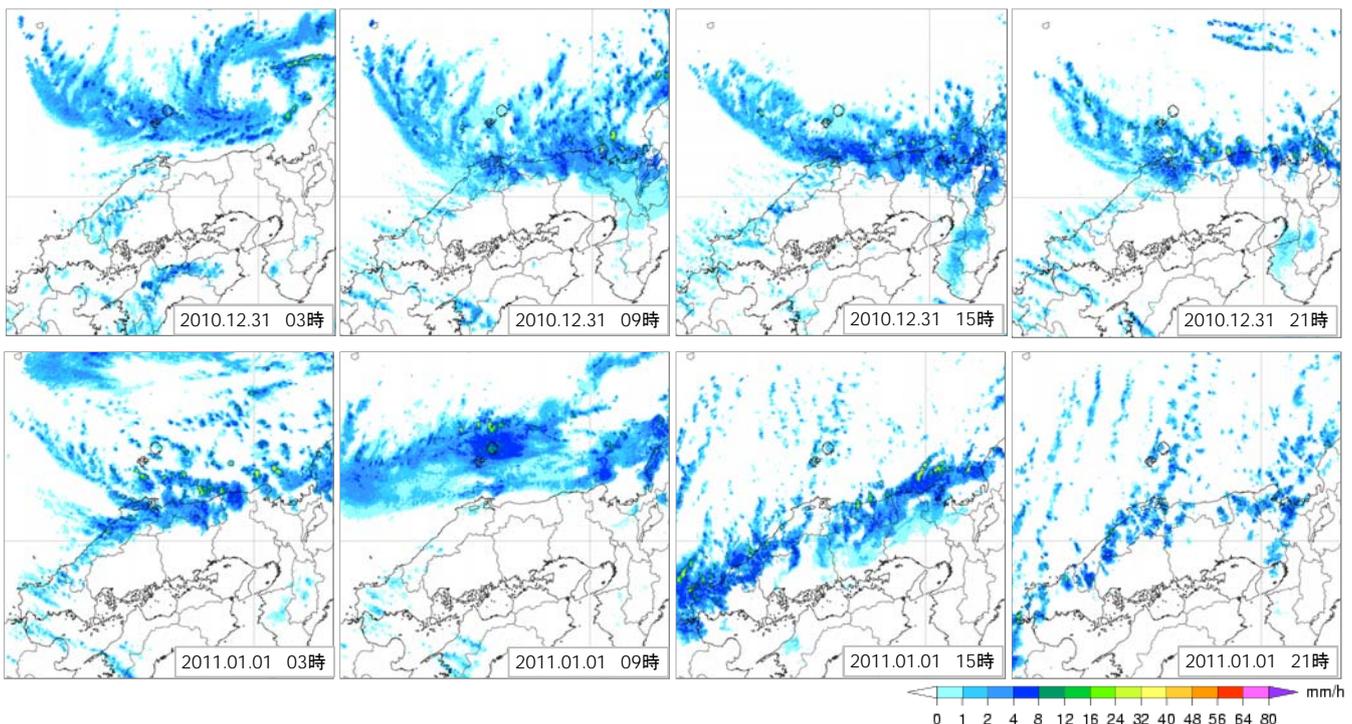
雪が降り始めた31日朝から、降雪が小康状態となった1日明け方までは、沿岸都市部の気温が概ね0℃で推移している。

上空1500メートル付近の寒気が比較的弱かったことと併せて、この大雪の雪質が湿った重いものになった原因と考えられる。

6 気象レーダー

レーダー観測から、隙間のない発達した雪雲が長時間にわたり鳥取県にかかっていたことがわかる。

- 31日03時： 帯状の雪雲が日本海を南下中。雪雲は発達しており、島根県隠岐の島町西郷では、00時から03時までの3時間に9センチの降雪を観測した。
- 31日09時： 雪雲は明け方から朝にかけて鳥取県の沿岸部に到達し、県内ほぼ全域で強い雪が降った。特に大山では1時間に10センチの強い降雪が昼過ぎにかけて続いた。
- 31日15時： 発達した雪雲が県内に掛かり続けている。雪雲は西北西から東南東に動いており、降雪は沿岸部が主体となっている。
- 31日21時： 状況に大きな変化はなく、依然として発達した雪雲が掛かっている。
- 1日03時： 雪雲はほぼ丸一日同じような状況となっている。
- 1日09時： 03時に隠岐のはるか北海上に見えていた帯状の雪雲が隠岐付近に南下。鳥取県内の雪は小康状態。
- 1日15時： 帯状の雪雲が県内を通過（南下）しつつある。
- 1日21時： 帯状の雪雲が南下後は、雪雲の分布が冬型の気圧配置時によく見られるような筋状の形に変わっている。雪雲の移動方向も、北から南への流れと変わった。



7 被害写真



折れ曲がった送電線鉄塔（中国電力提供）



垂れ下がった送電線（中国電力提供）



琴浦町から大山町の国道9号で車約1000台が立ち往生（鳥取県提供）



琴浦町から大山町の国道9号で車約1000台が立ち往生（鳥取県提供）



境港市、米子市など県西部の港では雪の重みで数百隻の漁船が転覆（境海上保安部提供）